



古 考える葦



下野市立古山小学校
校長室インフォメーション
令和2年度 2月号
令和3年2月10日
発行責任者 梶原 和子



新型コロナウイルス感染症の流行が始まって、早くも1年が過ぎてしまいました。流行が治まるのを心待ちにしていたのですが状況はなかなか好転してくれません。いつ、どこで、だれが感染してもおかしくない状況です。しかし、今は大変でも明けない夜はありません。本校でもあと少しの辛抱だと思い、職員一同頑張っています。皆様におかれましても、健康管理に十分気を付けていただければ幸いです。校長室通信も、このところいつもコロナの話題から始まっています。本当に早く普通の生活を取り戻せるよう切に願っています。

さて、いよいよ1年間のまとめをする大切な時期になりました。6年生には、この学校で学んだことを誇りに希望を持って中学校生活がスタートできるよう、これから残りの小学校生活を大切にしてほしいと思います。そして、他の学年は、その学年の学習内容はもちろん、今身に付けるべき基本的な生活習慣をしっかりと身に付けて、“こんなことができるようになったよ”と胸を張って言えるように準備をしてほしいと思います。

まだまだ厳しい寒さも続いています。感染症の問題もまだ続きそうです。この先行き不透明な時代だからこそ、子どもたちには、ぜひタフな生き方のできる人に育てて欲しいと願っています。そのためには、我々教職員ももちろんですが、保護者をはじめ、周囲の大人の力がが必要です。子どもたちが将来自分の足で立ってしっかりと生きていけるよう、まずは、誰もがすべきことをきちんとできるようになることが大切かと思えます。また、子どもの成長には本気で叱ってくれる大人の存在は欠かせません。人は、人とのふれあいによって安心感や人を受容しようとする広い心が生まれるのだと思います。それが、叱ってくれた人に素直に「ありがとう」と言えることにつながります。

子どもたちには、器の大きな人間になって欲しいと願っています。そのためにも、保護者の皆様、地域の皆様、そして学校とがしっかりとスクラムを組んで子どもを育てていければいいなとしみじみと思えます。そして学校は、子どもたちが良い人生を歩めるように手助けをしたいと心から思っています。保護者の皆様からもお力添えをしていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

学校評価結果について（保護者アンケートの結果と分析）

さて、過日実施しました「学校評価」の結果についてお知らせいたします。なお、達成度を「よく思う」と「ややそう思う」を合計したパーセントとして示しました。保護者の皆様のご協力、大変感謝しています。貴重なご意見もたくさんいただきました。今後、この結果をもとに改善策を検討し、本校の教育活動に生かして参りたいと存じます。ありがとうございました。

視点		評価項目	結果
学校教育目標と現況の視点から	進んで学ぶ	1 お子さんは、学習習慣が身につき、進んで学習している。	74.3%
		2 お子さんは、進んで発言や発表をしている。	63.5%
		3 お子さんは、友だちと楽しく学習している。	91.6%
	心豊か	4 お子さんは、あいさつや返事がよくできる。	80.5%
		5 お子さんは、思いやりがあり、他の人のことを考えた行動がとれている。	86.6%
		6 お子さんは、進んで読書をしている。	46.3%
	たくましい	7 お子さんは、積極的に運動している。	73.2%
		8 お子さんは、衛生・健康に気を付けている。	78.0%
		9 お子さんは、交通やネット・学校のルールを守っている。	92.7%



○「進んで学ぶ」の観点では、学習習慣が学校でも家庭でもしっかりと身に付いたかという事になると思います。勉強は、楽しいと思えるようになるには時間がかかりますし、好きだと言える子が少なく当たり前でしょう。それでも、わかるようになれば何事も、例え勉強でも、楽しくなってくるものです。そのことを踏まえて、“わかりやすく楽しい授業”の大切さを改めて実感いたしました。様々な学習活動の持ち方もより一層工夫が必要です。学校では、教員一人一人の授業力の向上に努めるとともに、状況に柔軟に対応して各教育活動を工夫し、本校児童の学びの保証に向けて取り組んで参ります。それでも、74%という数値は、各ご家庭のご協力があったの事だと思います。ご家庭のご努力に甘えず、我々もしっかりと教育活動を行って参ります。

○「発言、発表」については、今年度は感染症予防でマスクを常に着用し、大きい声を出すことも控えていましたので、その影響もあるかもしれませんが、しかしながら、本校児童は控えめで自分の意見や考えを言ったり主張したりすることについて、やや抵抗を感じている子が多いようです。そのため、授業ではメモを取ったり、考えを簡単に書いてまとめたりしたものを発表するようにしながら、学習活動を進めています。それ以外でも、ICTを効果的に活用しての情報交換、意見交換等を推進しています。「タブレットを使用して情報交換することで、互いに高め合いながら学んでいる」と回答している児童も多くおりました。情報機器の活用等も含めた指導について、より一層工夫・改善しながら取り組んで参ります。

○「読書」については、本校での大きな課題としてここ数年上がっているものです。塾や習い事等で下校後も忙しい児童も多いことでしょう。しかしながら、読書は心の栄養となることはもちろん、国語の読解力、語彙力、想像力の向上につながります。学校でも、図書館を整備し、子どもの興味関心が高い本や優良図書を揃える努力をしております。ご家庭でも、学習漫画や図鑑以外にも文学作品等お子さんに勧めただけだと幸いです。

○健康・安全面は、感染症対策もあり運動量も確かに少なくなりました。呼吸がたくさん出るような運動を控えているので体力の低下を心配されているご家庭もありました。安全を確保しながら子どもの体力の維持・向上が学校の今後の大きな課題です。健康増進に向け、できることをしっかりと行って参ります。

視点		評価項目		結果
児童・保護者・学校の関係の視点	学校生活	10	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	95.6%
		11	学校は、子どもの悩みをよく聞いてくれる。	84.8%
		12	学校は、子どもの努力を認め、励ましてくれる。	90.7%
		13	学校は、保護者からの連絡や相談に誠実に対応している。	93.9%
	各種教育活動・行事	14	お子さんは、授業がよくわかり、意欲をもって学習している。	91.5%
		15	お子さんは、楽しく給食を食べている。	91.0%
		16	学校は、安全指導を適切に行い、災害時の安全確保や登下校の事故防止に努めている。	94.9%
		17	学校は、充実した行事や学習活動を行っている。	83.4%
		18	HPや学校・学年だよりなどが充実している。	93.6%



○全体的に概ね良好な結果でした。しかし、これからもこの結果に甘んじることなく地域に根付いた、地域に誇れる学校となるよう努力して参ります。

○11については、子どもの気持ちに寄りそい、良く話しを聞き、そして子どもたちにとって話しやすい、そして頼りになる教職員となるよう、全職員で共通理解を図り、より一層、児童・保護者の皆様にとって信頼と安心の学校となるよう努めます。

○17につきましては、今年度は行事の実施について児童の皆さんにも残念な思いを残すことになった点、お詫び申し上げます。次年度は改善するよう、現在様々な視点から検討しており、今年度の実施状況を踏まえ、柔軟な対応を心がけるようにしています。しかしながら、状況によっては思うようにいかないこともあるかもしれませんが、できる限りのことは行っていきたくと考えています。

※お忙しい中、本教教育についての誠意あるご回答、誠にありがとうございました。今後も、本校教育へのご協力についてよろしくお願いいたします。

※児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載してますのでぜひご覧下さい。

学校HPアドレス http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/koyama/



